

昨年 5 月の就任以来、多くの企業・団体との間で「まちづくりに関する包括連携協定」を締結していただきました。具体的には、◇コーエーテクモホールディングス◇第一生命◇明治安田生命◇日本生命◇あいおいニッセイ同和損保◇日本郵便の各社さんです。

その協定の内容としては、○健康増進事業に関する協力○生涯学習講座の開催○子育て・保育支援○教育支援○産業振興○SDG's 講座の開催など、各社との間で数多くのメニューが設けられています。

例えば、コーエーテクモさんには「まちの先生」事業としてプログラミング講座の開催や、交通安全ポスター作製などを既に実施していただき、高い評価をいただいています。

しかし、各社との協定の内容をよく見ると、多くはまだ活かされていないのが現状です。とてももったいないと感じています。民間企業・団体との協定は、締結がゴールではなくスタートであると認識しています。

今後は、新規事業として取り組むことに加え、足利市が既に実施している事業をこれら協定に基づく事業に置き換えたり、融合させたりすることで、より中身の濃い事業にブラッシュアップできるのではないかと考えています。

また、「災害時の応援協定」についても、◇アキレス◇浄化槽協会◇建築士会◇コジマ電気◇ヨークベニマル◇白鷗大学◇フレッセイ◇アシコタウン◇佐川急便◇高橋ヘリコプタ

一の各社・団体さんと締結いただきました。

こちらにつきましても、災害時における施設の提供や生活物資の供給・輸送、消防用水の確保等、幅広い内容となっており、災害に強い地域づくりを進めていく上で大変ありがたいと思っています。

さらには、今年度から新たにスタートした公共施設への「ネーミングライツ（命名権）」事業についても、市内多くの企業さんからご応募いただきました。企業としての広告というより「足利市に対する支援」というお言葉をいただいております、感謝しています。

民間企業・団体の皆様からのご支援ご協力をいただきながら、そして民間の持つノウハウやネットワークをお借りし積極的に活かしながら、暮らしやすいまちづくりを進めてまいります。